

# ジョン・ロー関係の文献について

—成城大学高垣文庫所蔵書—

中 村 英 雄

筆者はかつて成城大学高垣文庫について、高垣寅次郎博士は蒐集にあたって、(1)18世紀末から19世紀初頭にかけてイギリスに見られたいわゆる「地金論争」に関連する文献と、(2)ジョン・ローおよびかれによって18世紀はじめにフランスで惹き起こされたいわゆる「ミシシッピー事件」に関連する文献とに重点を置いていたと思われることを述べておいた<sup>1)</sup>。この小稿では、高垣文庫に所蔵されているもののうち、後者に属すると思われる文献をリストアップし、さらにそのうち何冊かについて書誌的な事項やエピソードなどを紹介することにした。

## A ジョン・ローの著作

匿名『貨幣と商業』エディンバラ 1705年。

Money and Trade considered, with a proposal for supplying the Nation with Money. Edinburgh, 1705. [文献リスト No. 1]

ローの著作で最も広く知られているのはこの『貨幣と商業』である。初版は1705年にエディンバラで刊行されたが、この本の中にはどこにも著者の名前が見当たらない。高垣寅次郎博士によれば「この書は発行部数も少なかったか、長く市場にその姿を現さず、メンガー文庫の中にも挙げられていなかった。1966年ケリー書店 (A. M. Kelley, New York) からその復刻版が出てから漸くわれわれの手にも入れ得るようになった」のである<sup>2)</sup>。

---

1) 座談会「高垣寅次郎博士を偲ぶ」成城大学『経済研究所年報』第4号、1991年、p. 127f.

この初版本がきわめて稀少であることについて、これまでのところ唯一の『ジョン・ロー全集』の編纂者であるポール・アルサンは1934年に次のように述べている。「初版は1705年にエディンバラの Anderson 社から著者の名を秘して出版された。現在それは2冊しか残っていないが、それぞれ別の版あるいは別の刷りのもので、タイトルの表示のちょっとした違いによって区別できる。それらは大英博物館に保存されている」<sup>1)</sup>と。

筆者は数年前、京都大学法学部図書室で初めて初版本の実物に接した。それは Henry Home of Kames の旧蔵書で、表表紙の見返しに美しい蔵書票 [縦110mm×横75mm] が貼付されている<sup>2)</sup>。また日本大学法学部図書館の“Law Collection”でも初版本を見せてもらった。成城大学所蔵のものと併せて3点見たことになる。この3冊はまったく同じ版である。

ところが、ケリー社の復刻本と上記の3冊との間にはいくつかの相違点が見られる。まずタイトルページに描かれているヴィニエットあるいはオーナメントが違っている。旧知の古書の専門家の好意でオンライン・サービスによって調べてもらったところ、アルサン教授の言葉通り、大英図書館には互いに異なる初版本が1部ずつ (8226. a. 45 and 8223. b. 20 Variant) あって、オーナメントについては、

-The ornament on the title page resembles a coastline and its reflection. -Variant: the ornament contains an eagle and vines.

であることが判明した。確かにケリー版のオーナメントは海岸線とそれが水面に写っているもので、上記の3冊の本のオーナメントは鷲と葡萄の木

---

2) 高垣寅次郎「経済文献と貨幣理論断片」、成城大学経済学部創立三十周年記念論文集、1980年。p. 15.

Money and trade considered, with a proposal for supplying the nation with money [John Law] [1705]. Reprints of Economics Classics. Augustus M. Kelley · New York · Publishers. 1966.

1) Paul Harsin. John Law - Oeuvres complètes. Paris, 1934. Reprinted in Vaduz, 1980. vol. 3, p. xxi. [文献リスト No. 8]

2) この本のタイトルページには「京都帝国大学法科大学\*大正4年10月20日」という捺印がある。

である。P.アルサン編『ジョン・ロー全集』[文献リスト No.8] 第1巻の前書きと本文との間に挿入されている初版本のタイトルページの写真は鷺と葡萄の木で、3冊の本と同じものである。

ケリー版と3冊の本との間の相違はそれだけではない。3冊の本では本文の最初のページの上部欄外中央に(1)というノンブルがあり、その裏面の2ページに当たるところには(4)というノンブルが付けられていて、以下(5)、(6)……と続いている。つまり(1)のところには本来(3)のノンブルが来なければならなかったのである。ケリー版にはこの(1)というノンブルがなく、その部分は空白になっている。ローに関する研究者・文献蒐集者として知られるローレンス M.ランドの目録には、このことが「極めて稀少な初版……、(3)ページには1という誤ったノンブルが打ってある」と記載されている<sup>1)</sup>。従って Lande Collection の初版本も上記の3冊の本と同じものであることが分かる。

さらに3冊の本にはいくつかのページの下部欄外にシグニチャーつまり折記号あるいは折丁記号が記載されているが、ケリー版にはそれが欠けている。それ以外の点についてはケリー版と3冊の本とは最終ページの末尾に付された Errata まで含めてまったく同じである。

1994年の夏、筆者はたまたま機会を得てハーバード大学経営大学院ベーカー図書館のクレス文庫<sup>2)</sup>とコロンビア大学のバトラー図書館の稀覯書・マニュスクリプト文庫<sup>3)</sup>を訪ねて、そこに所蔵されている『貨幣と商業』

---

1) Lawrence M. Lande. The Political Economy of New France as developed by John Law—Compagnie des Indes & the French-Canadian Traders. Montreal, 1983. p. 98. [文献リスト No. 42]

1994年の夏、筆者はジョン・ロー関係の文献を調べるためにモントリオールの McGill University, McLennan Library の Lande Room を訪ねたが、あいにく担当者が休暇中のためその内容に接することが出来なかった。ところが後日同図書館の Lande Canadiana Librarian, (Mrs.) Nellie Reiss からの書信によって Lande Collection の主要部分が1993年までにオタワのカナダ議会図書館に移管されたことを知った。

2) Harvard Business School, Baker Library, Historical Collections, Kress Room.

の初版本を見ることができた。いずれも上記の3冊の本と同じものであった。従って筆者が直接手に取って見ることでできた初版本5冊と Lande Collection の1冊はすべて同じものである。

コロンビア大学の初版本では、タイトルページと見開きの位置に Edwin R. A. Seligman という署名と、古書店からの初版本の案内の切抜きが貼付されていて、それに次のように記載されているのが目についた。

By William Paterson, founder of the Bank of England, and the Darian Scheme. The work was reprinted by Foulis of Glasgow in 1760 with the name of John Law of Lauriston on the title page.

この古書案内では『貨幣と商業』の著者はジョン・ローではなく、ウィリアム・パターソンだとされている。著者がジョン・ローなのか、それともウィリアム・パターソンなのかということが問題になった本はこの他にもある。そのことについては後にまた触れることにする。

ちなみに National Union Catalogue に『貨幣と商業』の初版本の所在が8冊しか記載記されていないことから、その稀少さが窺い知られるであろう<sup>1)</sup>。このうちケリー版と同じものが何冊あるのだろうか。ケリー版の原本はアメリカ議会図書館の蔵書 Library of Congress Catalogue Card Number 65-19649 である。同じ内容の2つの版がなぜ同じ年に同じ書店から刊行されたのか、また2つの版の先後関係はどのようなかなどは分かっていない。

アルサンによれば、18世紀末までにこの本の英語版は5回出版された<sup>2)</sup>。後掲の文献リストに示したように、1705年、1720年（2回）、1750年および1760年の各版 [文献リスト Nos. 1, 3, 4, 5, 6] であるが、このうち『アダム・

---

3) Columbia University, Butler Library-Sixth Floor, Rare Book and Manuscript Library. コロンビア大学の索引カードにも、「誤ったページ付け：3ページには1という間違っただけの番号がついている」と付記されている。

1) Lawrence M. Lande. op. cit., p. 98.

2) Paul Harsin. Vol. 1. op. cit., p. xxi.

スミス文庫目録』には1750年版が、『ローダーデール伯文庫目録』には1760年版が収録されている<sup>1)</sup>。

ローがフランスで一般銀行を設立して成功をおさめ、王立銀行やインド会社などを経てついに財務総監に就任して名声がとみに高まった1720年頃には、この本は英語以外の言葉でも版を重ねた。1720年のフランス語版〔文献リスト No.2〕とドイツ語版〔同 No.9〕のほか、1721年にはオランダ語版も出たことが知られている<sup>2)</sup>。

〔ドゥ・セノヴェール訳〕『J.ロー著作集』パリ 1790年。

〔Étienne François de SENOVERT.〕Oeuvres de J. Law, Contrôleur-général de Finances de France, sous le Régent ; contenant les principes sur le commerce, le crédit et les banques. Avec des notes. Paris, Buisson, 1790.〔文献リスト No.7〕

ローのシステムの崩壊から70年たって、フランス革命の時期、「1789年から1790年にかけて国民議会のアシニヤ論議の中で、最も頻繁に名前が出てきた経済家はジョン・ローであった。……ローに対する関心が高まったので、不完全なものではあるがローの著作集がフランソワ・ドゥ・セノヴェールによって初めて公刊された。……この中にはローの数多くの覚え書きや書簡と共にかれの主著『貨幣と商業』のフランス語訳が含まれてい

---

1) James Bonar. A Catalogue of the Library of Adam Smith. second edition, 1932. Reprints of Economics Classics. Augustus M. Kelley · Publishers. New York · 1966. p. 99.

東京経済大学創立90周年記念図書館所蔵『ローダーデール伯文庫目録』1990年。p. 1, No. 5.

2) John Law. Aanmerkingen over den koophandel en het geldt ... Als meede: historische en geographische beschryvinge van Louisiana ... Benevens een berigt van de nieuwe Fransche Indische Compagnie ... Door P. J. M. 320p. 8°. Amsterdam, 1721. Cf. Margaret Canney & David Krott. Catalogue of the Goldsmiths' Library of Economic Literature. University of London Library. Vol.1, Printed Books to 1800. London, 1970. Reprinted, 1982, Cambrdge. p. 297. No. 5920.

た。』<sup>1)</sup> セノヴェールはJ.ステュアートの『経済の原理』の仏訳者としても知られている<sup>2)</sup>。その点については後でまた触れることにする。

1995年の早春に筆者の手元に届いた古書店の案内カタログの中に

ジョン・ロー著「スコットランド貿易委員会設立案」

Law (J.) PROPOSALS AND REASONS FOR CONSTITUTING A COUNCIL OF TRADE IN SCOTLAND. Glasgow: Rob & Foulis, 1751. xx, 282pp. 12. mo. full calf. rebacked. [文献リスト No. 64]

とあるのが目についた。

高垣博士もこの本をローの著作として取扱い、1966年の宮中講書初めの講演の中で、ジョン・ローは「24歳のときに大陸に渡り、諸都市の繁栄の状況を視察して故国に帰りまして、『貿易委員会設置の提案』と『貨幣および貿易論』という2つの書物を著しました」と述べている<sup>3)</sup>。

この本は初め1701年にエディンバラで匿名で出版された。後出の文献リストにも示した通り、『貨幣と商業』の1750年版および1760年版と同じように、この本のタイトルページにも、

By the celebrated John Law Esq; afterwards Comptroller of the Finances in France. First published at Edinburgh in the 1700.

と書かれていたためか、これは長い間ローの著作とされていた。しかし今日では1694年のイングランド銀行の創設に関わったウィリアム・パター

---

1) Antoin E. Murphy, John Law and the assignats. in: Gilbert Faccarello et Philippe Steiner. La pensée économique pendant la révolution Française. Presse Universitaires de Grenoble, 1990. p. 431.

成城大学所蔵のセノヴェール訳『ジョン・ロー著作集』の表表紙の見返しには Edgar Salin の署名がある。

2) 津田内匠「フランス革命と産業主義」成城大学『経済研究所年報』第3号, 1990年, p. 38.

3) 『インフレーションの歴史の一節』(講書始めのための自筆講演原稿・高垣文庫所蔵)。

成城大学経済研究所『高垣文庫所蔵貴重書展示会目録』1991年. p. 52 & p. 59.

ンの著作とされている。ここにもまたローとパターソンとの混同が見られる。『ローダーデール伯文庫目録』には1701年の初版と1751年版が、『アダム・スミス文庫目録』には1751年版が収録されている<sup>1)</sup>。

『商業再建論』1715年。

Restablisement du commerce (septembre 1715)

いささか横道に逸れることになるが、ポール・アルサンが編集した『ジョン・ロー全集』に収録されている論文のうち、今日ではローの著作でないとして「商業再建論」<sup>2)</sup>にも触れておきたい。

もともとこの論文は、シャルトル市立図書館に所蔵されていたマニュスクリプトをアルサン教授が自らローの著作と判断して、全集に収録したものである。アルサンによれば、「このマニュスクリプトはローの自筆によるものではないが、……序文の終わりにロー自身の署名がある。……タイトルページの上右隅に〈ロー氏からの贈り物 モンテスキュー〉という〈法の本質〉の著者の手による証明がある。……この2つの署名が本物であることは凡人なら誰でも容易く確認でき、些かも疑問を差し挟む余地はない」<sup>3)</sup> はずであった。

---

1) James Bonar. op. cit., p. 99.

Walter Braeuer. Handbuch zur Geschichte der Volkswirtschaftslehre. Frankfurt/M 1952. S. 72.

Josef Stammhammer. Bibliographie der Finanzwissenschaft. Jena 1903. S. 119.

以上3つの目録ではローの著作とされているが、以下の4つの目録ではパターソンのものとされている。

Henry Higgs. Bibliography of Economics 1751-1775, First published in 1935 by Cambridge University Press, reprinted in 1990 by EMO Press. p. 1.

Margaret Canney & David Krott, op. cit., vol. 1, p. 291, No. 3756 & p. 427, No. 8588.

The Kress Library of Business and Economics Catalogue covering material published through 1776. Boston, 1940. p. 123, No. 2313.

前掲『ローダーデール伯文庫目録』p. 3, No. 18 & p. 4, No. 29.

2) Paul Harsin, op. cit., vol. 2, pp. 67-259.

これに関連して1963年に赤羽裕教授は次のように述べている。「アルサンによって発見され、『ジョン・ロー全集』の第2巻に収録された『商業再建論』Restabilissement du commerce は「驚くべき」内容を含むものであるが、最近、これはロー一人の筆になるものではなく数人の共同執筆によるものではないかという新しい疑念が提起された。[Cf. H. Lüthy, La banque protestante en France, t. I, 1959, pp. 297-298, n. 12.] この問題についての筆者の照会に対するアルサン教授のごく最近の回答によれば、Lüthy の疑念は正当なものであるとのことと……」と<sup>1)</sup>。

さらにその後の研究によって、このマニュスクリプトの少なくとも40%は Jean Pottier de la Hestroye の筆になるもので、署名などはすべて Vrain-Lucas という偽作者の手によるものであること、またそれがシャルトル市立図書館に納められるまでの経緯なども判明した。A. マーフィーは「ジョン・ローの理論と政策の展開」という論文でこの間の事情にかなり詳しく触れて、「署名偽作者が美術の世界に止まらなかったのは残念である」と嘆息している。問題のマニュスクリプトは第2次世界大戦中に戦火によって失われてしまった<sup>2)</sup>。

## B ジョン・ロー関連の文献

編者不明『愚かごとと絵綴じ』発行地不詳 1720年。

HET GROOTE TAFEREEL DER DWAASHEID, Vertoonende de opkomst, voortgang en ondergang der Actie, Bubbel en Windnegotie, in Vrankryk, Engeland, en de Nederlanden, gepleegt in den Jaare

---

3) Paul Harsin. op. cit., vol. I, xxxix ff.

1) 赤羽 裕『アンシャン・レジーム論序説 18世紀フランスの経済と社会』みすず書房 1978年, p. 121f. [文献リスト No. 82]

Herbert Lüthy. La Banque Protestante en France de la Révocation de l'Édit de Nantes à la Révolution. Paris, 1959. vol. I. pp. 297f. note 12.

2) Antoin E. Murphy. The evolution of John Law's theories and policies 1707-1715. in: European Economic Review 35, 1991, pp. 1110f.



MDCCXX. [n. p.] [文献リスト No. 35]

この本はオランダ語で書かれていて筆者の理解の及ぶ範囲を遥かに越えているが、幸い英語で書かれた有益な研究書<sup>1)</sup>があるので、ここではそれに頼って話を進めたい。本の標題は「愚行の大鏡、1720年にフランス、イギリスおよびオランダで起こった株式取引、バブルと空投機の発生、進展および破滅を示す……」[後述の成城大学所蔵本に挿入されている手書きカードによる]となっている。ここではそれを『愚かごと絵綴じ』とよぶことにする。

この『愚かごと絵綴じ』はいささか奇妙な本で、編集者の名前も、出版地も、出版者も記載がなく、序文も見当たらない。当時オランダに簇生した泡沫会社の定款や事業計画、バブル経済の崩壊を揶揄して市中にばら撒かれたパロディの詩歌や版画などの現物を集めて綴じ合わせたもので、「研究者に対して独特の歴史的記録を提供している。」相互に微妙に異なる何種類かのタイトルページが見られ、それは出版の時期の差を示すものと考えられる。この本が初めて姿を現したのは1720年12月か1721年1月で、18世紀中に何度か刊行を重ねた。同じタイトルページを持つものでも同じ内容のものは2つとはなく、「ある意味で『愚かごと絵綴じ』は一冊一冊がみな別のものである。」「1冊の本でこれほど大きな経済学的な興味と書誌学的な謎とを併せ持つものはきわめて稀である。」<sup>2)</sup>

高垣文庫所蔵本の表表紙の見返し遊び紙には A. A. Kaiserslautern という旧所有者が、1952年1月2日にアムステルダムの Hans Marcus という古書店でこれを手にしたときの状況を非常に詳しく手で書き記している。

筆者は『愚かごと絵綴じ』を1988年にアムステルダムのオランダ経済史図書館<sup>3)</sup>で2点、アムステルダム大学図書館<sup>4)</sup>で4点、1990年に日本大学法

1) Arthur H. Cole. The Great Mirror of Folly (Het groote Tafereel der Dwaasheid), An Economic-Bibliographical Study. Boston, 1949. [文献リスト No. 36]

2) Arthtur H. Cole. op. cit., pp. 1, 2 & 11.

学部図書館の Law Collection で1点, そして1994年にはハーバード大学クレス文庫で5点<sup>1)</sup>, コロンビア大学稀観書・マニユスクリプト文庫で1点, それに高垣文庫所蔵本と併せて都合14点を手に取って見て, 「正確に同じ本が2冊とはない」ということを心底から納得した。どの本にも74-75枚ほどの絵が含まれていて, その中にはジョン・ローその人やパリのカンクンパア通りの混乱の様子などをパロディ風に描いたものなどがかなりの数見受けられた。この本はわが国でも数点は所蔵されているものと思われる。

黒と赤2色刷りのタイトルページにおける標題の行の区切り目, オーナメントおよび口絵ページなどを比較して見ると, 高垣文庫所蔵本はオランダ経済史図書館の大型本に近いものであって, コールの判定基準に従えば第2期に刊行されたものと思われる。

蒐集者不明『ジョン・ロー関係資料集: 1719年12月3日から1720年6月5日まで公布された法令など57点を集めたもの』

[Banque de Law :] Recueil de 57 pièces publiées entre le 3 décembre 1719 et le 5 juin 1720. [文献リスト No. 14]

ジョン・ローのシステムの絶頂期から崩壊へのまさに曲がり角の時期をカバーする法令など57点を収めた稀観の資料集である。もとの収集者がこれらの資料を入手し次第つぎつぎに綴じ合わせたのか, 概ね公表の日付け順に並べられ, 当時の装丁で1冊にまとめられている。

法令 Arrest du Conseil d'Etat du Roy が40点 (うち重複が3点), 国王の

---

3) Nederlandsch Economisch-Historisch Archief, Economisch-Historisch Bibliotheek.

4) Universiteits-Bibliotheek van Amsterdam.

1) クレス文庫のカタログ・カードによると同文庫には『愚かごと絵綴じ』の本が7点所蔵されているはずであるが, 筆者はそのうち5点しか見ることが出来なかった。関係のカタログ・カードは7枚続きになっていて, 書誌事項だけでなく, 研究上の注意事項も記載されていて大変興味深い。

宣言 Declaration du Roy が4点、勅令 Edit du Roy が3点あって、この時期にローのシステムが辿った破局への足取りを布令の側面から追跡するための有力な手掛かりとなるものである。

この資料集を繙くと、ローのシステムの最終の組織形態となった王立銀行とインド会社との統合を定めた法令（1720年2月23日付）、システムの崩壊に駄目押しを加えることになったインド会社の株式と王立銀行券との額面金額の呼称の引き下げを定めた法令（1720年5月21日付）や、すぐこの法令を撤回して銀行券と株式の呼称を額面通りに戻した法令（1720年5月27日付）などが当時のままの姿を見せている。後で挙げる J. スチュアート著『経済の原理』第4編第2部第28章「史実の編年史」の叙述などと併せて読むと、思わずローのシステムが眼前で展開されているかのような錯覚に囚われそうになる<sup>1)</sup>。

さらにアルサンの『ジョン・ロー全集』に収録されている下記の2つの論文がここに収められていることも注目される。これらの論文は1720年のはじめに雑誌 *Mercur de France* に掲載されたものであるから、ここに綴じ込まれているのはその切り抜きであろうか<sup>2)</sup>。このほか、表表紙の次に手書きの文章が3ページにわたって綴じ込まれているが、どのページでも下辺が文字にかかって裁断されていることが惜しまれる。

[Law]. Lettre écrite à M\*\*\* sur le nouveau système des finances, & particulièrement sur le remboursement des rentes constituées. [À Paris Février 1720].

[Law]. II. Lettre. Où l'on traite du crédit & son usage. [À Parisle 11

---

1) Sir James Steuart. *An Inquiry into the Principles of Political Oeconomy*. London, 1767. vol. 2, p. 251 [文献リスト No. 73] では、王立銀行とインド会社の合併の日付けが1720年2月22日とされている。佐村明知「ジョン・ロー・システムの展開と諸相——システム展開過程（1718-1720年）の虚構と現実——」『大阪大学経済学』Vol. 35, No. 1. では法令の記載通り1720年2月23日となっている。

2) Paul Harsin. *op. cit.*, vol. III, pp. 98-102, pp. 103-111.

Mars 1720].

法令が印刷された何枚かの紙の裏面に何かの計算が手書きされていることなどから、もしかしたらこの資料の収集者がローの銀行の顧客で、あのバブル経済に巻き込まれていたのではないかなどと想像が膨らむのである。

匿名『商業に関する政治的試論』アムステルダム 1735年。発行地不詳 1736年。

[Jean-François Melon.] Essai politique sur le commerce, par monsieur M.\*\*\*. Amsterdam, 1735. [文献リスト No. 57]

[Jean-François Melon.] Essai politique sur le commerce. Nouv. ed. augm. de sept chapitres, & où les lacunes des éditions précédentes sont remplies. [n. p.] 1736. [文献リスト No. 58]

著者ムロンは1675年コレーズ県テュルの生まれで、ポルドー・アカデミーの創立などに関わった後、1718年にジョン・ローの秘書になった。ロー自身が「問題の処理をムロン氏に一任した。彼が誠実な人柄であることを知っていたので、信頼して細部には口を差し挟まなかった」と述べていることから、ムロンがローの厚い信任を得ていたことが分かる。ローの没落後は摂政オルレアン公爵に仕え、次いでブルボン公爵に仕えて、1738年にパリで死去した<sup>1)</sup>。

この本の初版はローのシステムの崩壊から14年後、1734年にパリで匿名で刊行された。システムの中枢にあった著者の貨幣・信用論は世の反響を

---

1) 米田昇平「ムロン『商業に関する政治的試論』(1734年)について」下関市立大学論集 第31巻 第1・2合併号 1987年9月。  
Eugène Daire, *Économistes Financiers du XVIII<sup>e</sup> siècle*. deuxième édition. Paris, 1851. p. 602 & p. 659.  
J.R. M<sup>c</sup>. Culloch, *The Literature of Political Economy*. London, 1845. p. 61.  
A Catalogue of Rare English Books on Banking & Trade in the Library of AMEX BANK LIMITED. London, 1982. p. 117.

呼び、35年、36年（9つの章を追加）、42年及び61年と版を重ねた。39年〔ア  
メックス目録では38年〕にはダブリンで英語版が、56年にはコペンハーゲン  
でドイツ語版が出版された。後に見る通り、この本に触発されてデュトの  
『財政と商業に関する政治的省察』が、そしてデュトの本に反撃を加える  
べくパリ・デュヴェルネの『財政と商業に関する政治的省察と題する本の  
検証』が相次いで出版されて「貨幣論争」が展開されることになる。デー  
ルは、36年の増補版についてヴォルテールが、「これは才気溢れる市民で  
あり哲学者である人の作品であって、時代精神を宿している。コルベール  
の時代以降かような本を著しうる人が他にいるとはとても思えない」と激  
賞したと述べている。これによっても、「ムロンはローのシステムに関し  
て直接の知識を持っていて、この本がフランス及び諸外国で大好評を博し  
て顕著な影響を及ぼした」というシュンペーターの言葉が十分に納得でき  
るだろう<sup>1)</sup>。

『アダム・スミス文庫目録』には1761年の英語版が、『ローダデル伯文  
庫目録』には1735年のフランス語版が収められている<sup>2)</sup>。

匿名『財政と商業に関する政治的省察』ハーグ 1754年。

[Charles de Ferrare Dutot.] *Réflexions politiques sur les Finances, et  
le Commerce. Où l'on examine quelles ont été sur les revenus, les  
denrées, le change étranger, & conséquemment sur notre commerce, les*

---

1) Walter Braeuer. a. a. O., S. 80.

米田昇平, 前掲「ムロン『商業に関する政治的試論』(1734年)について」  
p. 289.

A Catalogue of ... the Library of AMEX BANK LIMITED. op. cit.,  
p. 117.

Eugène Daire, op. cit., p. 660.

Joseph A. Schumpeter, *History of Economic Analysis*, London, 1963.  
p. 174.

2) James Bonar, op. cit., p. 113.

前掲『ローダージェル伯文庫目録』p. 5, No. 31.

influences des augmentations et des diminutions des valeurs numéraires de monnaies. 2 vols. La Haye, 1754. [文献リスト No.26] (第1巻のタイトルページではアンダーラインの部分が欠けている。)

[Charles de Ferrare Dutot.] Political Reflections upon the Finances and Commerce of France; shewing the causes which formerly obstructed the advancement of her trade, on how much better footing it stands now than it did under Lewis XIV. with several expedients for raising it still to a greater Heighth. London, 1739. [文献リスト No. 27]

著者デュトの生没年は不詳であるが、彼はローの時期のインド会社の出納官で、そのシステムに最も精通し独自の見解をもった解説者である<sup>1)</sup>。

この本は1735年にデュトが上述の『商業に関する政治的試論』の著者ムロンに宛てて書いた3通の手紙から生まれたもので、38年に初版が刊行された。この本の冒頭でデュトは次のように述べている。「1734年の暮れに近いころ、出版されたばかりの『商業に関する政治的試論』という標題の本を手に入れた。著者の名声に惹かれて細心の注意を払ってそれを読んだ。そこに含まれている優れた事柄の中に、著者の見解に同意出来ない点がいくつかあった。彼は貨幣価値の引き下げ [les surhaussements des monnaies] に賛成している。つまり国王の支出が収入を超過する場合、あるいは軍事力を行使しなければ租税の徴収が出来ない場合には何時でも、彼はこの方策を勧告している」と<sup>2)</sup>。

この『省察』は翌39年にはロンドンで英語版が出版され、フランスでは40年、43年、そして54年と版を重ねたが、そこではローのシステムとその崩壊の理由について好意的な検証が示されている。後で見る通り、ローの

---

1) Eugène Daire, op. cit., p. 781.

Walter Braeuer, a. a. O., S. 80.

2) Walter Braeuer, a. a. O., S. 80.

Duto. op. cit., p. 1 f. (français) & p. 1. (English).

米田昇平, 前掲「ムロン『商業に関する政治的試論』(1734年)について」p. 292, 注3)。

強力な政治的敵対者パリ・デュヴェルネは、この本を反駁するために、『財政と商業に関する政治的省察と題する本の検証』（1740年）という本を書いたのである<sup>1)</sup>。

マカロックは、この『省察』が優れたれ明敏さと説得力を持つことを認めながらも、ローのシステムを解説するに当たってパリ・デュヴェルネの本ほど公平かつ有能であるか否か疑わしいとし、結局デュトはローの肩を持ち過ぎていて、このシステムの擁護者に過ぎないとしている<sup>2)</sup>。しかし、マカロックのこの見方には疑問の余地があると思われる。

この本は後でも触れる通り、J.ステュアートによって『経済の原理』の中で繰り返し引用されているが、『アダム・スミス文庫目録』にも『ローダーデール伯文庫目録』にも見当たらない。

匿名『ルイ15世治下、1719年と1720年の財政制度の歴史』ハーグ  
1739年。6冊本。

[Barthélemy Marmont du Hautchamp.] Histoire du système des finances, sous la minorité de Louis XV, pendant les années 1719 & 1720. Précédée d'un Abrégé de la vie du Duc Régent & du sr. Law. 6 vols. La Haye, Piere de Hondt, 1739. [文献リスト No. 55]

著者はジョン・ローと同じ時代の歴史家マーモン・デュ・オシャンで、ローの称賛者である。この本はローの死後10年目に刊行されたもので、まさにローのシステムの絶頂と顛落の時期を取り扱っている。第5巻と第6巻にはローのシステムに関する法令、覚え書き、特許状などのテキストが数多く収録されていて、極めて重要な資料である<sup>3)</sup>。しかし、この匿名の本の著者は別人であるとする向きもあるので、次に挙げる本と関連してその

---

1) Walter Braeuer, a. a. O., S. 80.

2) J. R. M<sup>c</sup>. Culloch, op. cit., p. 344.

3) Emile Levasseur, Recherches historiques sur le système de Law. Paris, 1854. p. xi. [文献リスト No. 53]

点に触れたい。

匿名『財政と商業に関する政治的省察と題する本の検証』ハーグ  
1740年。

[Joseph Pâris-Duverney.] Examen du livre intitulé Réflexions  
politiques sur les finances et le commerce. 2 vols. La Haye, 1740. [文献リ  
スト No. 25]

著者パリ・デュヴェルネ（1684-1770）はローと同じ時代の有名な金融家  
＝いわば高利貸しであったパリ 4 兄弟の一人で、ルイ 14 世の時代から国王  
の資金調達の需要に応じていた。多年にわたってローと鋭く対立し、当時  
「システム」と呼ばれていたローの政策に対抗して「アンチ・システム」  
会社を設立して、ついにローを没落に追い込んだ。1721年に彼は「Visa: 査  
証委員会」の長に就任して、ローが失脚した後のフランス経済の整理に当  
たった。1723年から26年までの間、財務総監ドダンのもとで事実上フラン  
ス王国の財政を取り仕切ったと言われている。この本は、ローのシステム  
に対して好意的な立場をとるデュトの上記の著書に反撃を加える目的を  
もって出版されたものである。『アダム・スミス文庫目録』にも収録され  
ている<sup>1)</sup>。

マカロックがデュトの著書はローの肩をもちすぎ、システムを解明する  
点でデュヴェルネの本ほど公平かつ有能でないとしていることはすでに述  
べたが、この点と関連して、マカロックがすぐ前に挙げたマーモン・デュ  
・オシャンの著書をパリ・デュヴェルネのものだとしていることに注目し

---

1) Margaret Canney & David Krott, op. cit., vol. 1, p. 386, No. 7784 では、著者  
の項が [Deschamps, F. M. C. et Paris Duverney] とされている。  
The Kress Library of Business and Economics Catalogue, op. cit., p. 227,  
No. 4519 では、著者の項が [Paris-Duverney, Joseph] と記されており、  
Written mostly by Paris-Duverney; also attributed to F. M. C. Deschamp.  
(L. C.) と付記されている。  
J. Bonar, op. cit., p. 64.



たい。管見の範囲内では、マカロック以外にはこう言った見解の持ち主はいない。シュタムハマーの目録では、わざわざ括弧付きで「(マカロックではこの本はM.デュヴェルネのものとしてされている)」と断つてある<sup>1)</sup>。もし上で見た『ルイ15世治下……の財政制度の歴史』がデュヴェルネの著作でないとしたら、デュトとデュヴェルネに対するマカロックの評価は再検討を必要とするのではあるまいか。

リチャード・カンティロン『商業試論』ポストン 1892年。ロンドン  
1931年。

Richard Cantillon. *Essai sur la nature du commerce en général*.  
Reprinted for Harvard University, Boston, 1892. [文献リスト No. 17]

(Richard Cantillon.) *Essai sur la nature du commerce en général* by  
Richard Cantillon, Edited with an English Translation and other  
material. by Henry Higgs, C.B. For the Royal Economic Society.  
London, 1931. [文献リスト No. 18]

R.カンティロン, 津田内匠訳『商業試論』名古屋大学出版会 1992年。  
[文献リスト No. 86]

著者カンティロンはアイルランドの生まれであるが、生年は不詳である。いつの頃からフランスで活躍するようになり、1734年5月14日にロンドンで放火殺人事件の被害者として死去した。「彼の生涯で最も興味深くかつ重要であるのはジョン・ローとの関係であろう。」「辣腕の銀行家、政商風の事業家としてのカンティロンの活動がやがてローとの密接な、しかし覚めた関係の中で始まる。ローに近づき、ローを避ける。これがカンティ

---

1) J. R. M. Culloch. *op. cit.*, p. 344.  
Margaret Canney & David Krott. *op. cit.*, vol. 1, p. 382, No. 7712.  
The Kress Library of Business and Economics Catalogue, *op. cit.*, p. 224,  
No. 4447.  
E. Levasseur, *op. cit.*, p. xi.  
Joseph Stammhammer, *a. a. O.*, S. 119.

ロンの行動の基本となるのである。」<sup>1)</sup>

この本は著者の没後21年を経て漸くロンドンで下記のように匿名で、しかも存在しないはずの出版社名で刊行された。

Essai sur la nature du commerce en général. Traduit de l'anglois. À Londres, Chez Fletcher Gyles, dans Holborn, M. DCC. LV. 430, [VI] p.

翌1756年にアムステルダムで2度、1892年にボストンとロンドンでフランス語版が、そして1767年にはイタリア語版が、1931年にはドイツ語版がイエナで、上記の仏・英語版がロンドンで刊行された<sup>2)</sup>。

『ローダーゲール伯文庫目録』にはこの初版本が収められているが、『アダム・スミス文庫目録』にはどの版も見当たらない。高垣文庫には18世紀に刊行されたカンティロンの本はない<sup>3)</sup>。

津田内匠教授による上記の邦訳は1755年の初版本を底本としながら、「ルアン市立図書館所蔵の手稿 *Essay de la nature du commerce en général*. 158 feuillets, 187×130mm. Collection Leber 919 (Richard Cantillon *Essay de la nature du commerce en général*. Texte manuscrit de la Bibliothèque municipale de Ruen. Avec le texte de l'édition originale de 1755 et une étude bibliographique par Takumi Tsuda. Tokyo, 1979, 453, [i] p.) を初版テキストの校訂のために用いた<sup>4)</sup> まったく独自の業績である。

小林昇博士はこの訳書の「はしがき」で次のように述べている。「この邦訳は、……、[訳者] 自身がルアンで発掘された『試論』のフランス語の手稿——おそらくこの古典の原形にもっとも近いもの——をふまえて随所に転写の歪みを正しつつ公刊本を訳出されたことに、最大の特徴が存する。右の点にさらに、訳者の苦心に成る訳注と画期的な解説とが加えられて、

---

1) 津田内匠 前掲訳書 p. 237 ff.

2) Walter Braeuer, a. a. O., S. 84.

3) 前掲『ローダーゲール伯文庫目録』 p. 124, No. 1015.

4) 津田内匠 前掲訳書 p. V.

この邦訳は、日本語だという制約の下にながら、『試論』の諸版のうちの出色の版を成すものである。」<sup>1)</sup>

著者カンティロンの真の狙いは何処にあったのか？津田教授は訳書の「解説」の中で次のように述べている。「『試論』の各部と全体は著者の卓抜で精緻な数々の考察で綿密に構成されているが、同時にその文脈からは、すべての議論がひそかにロー批判に向けられていることが読みとれるのである。『試論』の隠された真のテーマは文中に一度もその名が出ないローの〈システム〉に対する批判であったらう。」(同書 p.245.) 謎に満ちたカンティロンのこの著作の真のテーマがローのシステムを批判することであったというこの指摘はきわめて重い。

ロー・システムと彼との間には次のような複雑で深い繋がりがあったのである。「カンティロンは [1718年の] 11月にはローともう一人の出資者と3人でルイジアナ植民会社を設立し、翌年3月には弟バーナードを隊長とする遠征隊を派遣している。結局この会社は本国からの資金と物資の補給がうまく行かず成功しなかったが、この間カンティロンは〈ロー・システム〉の崩壊まで、その中心部分で、これに深くかかわっていたのである。」(同書 p. 239f.)

彼はローのシステムの破局を予感していて、その崩壊がはじまった瞬間にフランスを立ち去り、数年間そこに戻ろうとしなかった。それは「〈ロー・システム〉の後始末に当たっていた査証委員会の税務調査を警戒してのことであった。……一方で彼はミシシッピの投機にからんでいくつもの訴訟に巻きこまれていた。……27年末にパリにもどると、彼は2度3度、逮捕されることもあった。」(同書 p. 243f.)

そのためにも、「彼がかかわらざるをえなかった法廷に向けて、自らを弁護するために『覚書き』を作成する必要があった。それが『試論』を執筆する一つの動機であったかもしれない。」(同書 p.244.) カンティロンの著

---

1) 津田内匠 前掲訳書 p. III.

書とジョン・ローのシステムとの関わりはまことに微妙かつ複雑である。

匿名『1595年から1721年までのフランスの財政に関する研究と考察』  
バーゼル 1758年，2冊本。リエージュ 1758年，6冊本。

[François Véron Duverger de Forbonnais.] Recherches et considération  
sur les finances de France, depuis 1595 jusqu'en 1721. 2 vols. Basel,  
MDCCLVIII. [文献リスト No. 32]

[François Véron Duverger de Forbonnais.] Recherches et considération  
sur les finances de France, depuis 1595 jusqu'en 1721. 6 vols. Liège,  
1758. [文献リスト No. 33]

著者フォルボネ（1722-1800年）は実業家であり財務官僚で，1756年には造幣局総監に任命された。彼はヴァンサン・ドゥ・グルネの弟子で，師の没後はフィジオクラシーの最大の論敵と見なされた一人である。彼については数多くの著書が知られているが，シュンペターは，この著書や『スペイン財政考』*Considérations sur les finances d'Espagne. à Dresde (Paris), 1753.* のように明確な歴史的事実群の分析において彼は最高の出来栄えを示したと述べている。『アダム・スミス文庫目録』には『1595年から1721年までのフランスの財政に関する研究と考察』（リエージュ版）が，また『ローダーゲール伯文庫目録』には『スペイン財政考』が収められている<sup>1)</sup>。前掲の高垣文庫所蔵のバーゼル版第1巻の表表紙裏の左上隅には，C. T. Noel Payrat という簡素で小型（縦34mm×横60mm）の蔵書票が貼付されている。

この本はシュリ，マザラン，コルベールからジョン・ローに至るまで歴

---

1) Joseph A. Schumpeter. op. cit., p. 174.

米田昇平「18世紀中葉における経済学の一動向——グルネーとフォルボネを中心として——」『経済学年報』（早稲田大学大学院経済学研究科）第22号  
1983年3月。p. 132.

James Bonar. op. cit., p. 70.

前掲『ローダーゲール伯文庫目録』p. 7, No. 47.

代の財政家たちによって行われたフランスの国家財政の実態を詳細に検討している。とくにローに関連して多くの紙面が割かれていることが目につく。パーゼル版で言えば、第2巻はローの活躍が著しかった1715年9月以降の時期の叙述が全体の半分以上を占めており、末尾は *Memoire de M. Law* (p. 541-p. 573), 続いて *Vüe générale du Système de M. Law* (p. 574-p. 644) という2つの章節で終わっている。彼にはまた次のような著作もある。

Forbonnais, Fr. L. V. de. *Parallèle du système de Law avec celui d'Angleterre sur la Compagnie de la Mer du Sud.* s. l. s. a.

Forbonnais, Fr. L. V. de. *Vües générales sur le système de Law.* s. l. s. a.<sup>1)</sup>

ところで『1595年から1721年までのフランスの財政に関する研究と考察』と題する本が、上で見たように、なぜ同じ年にパーゼルで四つ折りの2冊本として、またリエージュで12折り小型の6冊本として、互いに違う形で出版されたのか。あれこれと考えめぐねていたところ、幸いにも小池基之博士から次のように適切懇篤な教示を頂いた。まず私信の一節から。「フォルボネの〈財政史〉につきましては、それに関連してケネーが書いている論文が御ざいまして（拙稿〈教賀論叢〉2参照）、それを頼りに、一橋大学に所蔵されております小型本と私蔵の四つ折り本とを検討比較してみますと、小型本の方に四つ折り本を訂正している個所が御ざいまして、小型本の方は、（扉にもどこにも第二版という表示は御ざいせんが）第二版と見るべきではないかというように考えております」<sup>2)</sup>と。

これに関連して、小池博士からさらに「二人のフランソワ」という論文の恵投を受けた。その中で次の諸点が明示されている。四つ折り本 [パー

---

1) Josef Stammhammer. a. a. O., S. 191.

2) 1995年1月5日付け書簡。

Kress Library of Business and Economics Catalogue, op. cit., p. 283, No. 5692 では「リエージュ版」について「Second edition?」と付記されている。

ゼル版」が公刊されたのは1758年夏のことで、「ケネーはその第一級の読者の一人であった」こと。ケネーが同年9月1日の日付けをもつ手紙で、フォルボネが本書において「1683年の租税負担と1754年のそれとを比較し、流通貨幣量に比して租税負担は後者において軽減されているとなす点を批判」したこと。「これをうけてフォルボネは1758年末に12折り本6巻として刊行した『フラン財政史研究』第2版[リエージュ版]において当該箇所を……書き改めることになる」こと、等<sup>1)</sup>。これによって、F.ケネーが指摘した箇所およびそれに対してフォルボネが書き改めた箇所の内容が原文に即して的確に示され、2つの版の関係が手に取るようによく理解できる。

ジェイムズ・ステュアート『経済の原理』ロンドン 1767年

Sir James Steuart, Bart. An inquiry into the principles of political oeconomy: being an essay on the science of domestic policy in free nations. In which are particularly considered population, agriculture, trade, industry, money, coin, interest, circulation, banks, exchange, public credit, and taxes. 2 vols. London, 1767. [文献リスト No. 73]

最初の経済学体系と言われるこの古典と著者サー・ジェイムズ・ステュアート(1712-1780年)について説明することは不要である<sup>2)</sup>。ここではただジョン・ローと同郷の著者が、卓越したこの著作の大きなスペースを「ローの銀行」の分析に充てたことだけを述べておきたい。

『経済の原理』の初版の第2巻は「第3編 貨幣と铸貨について」の「第2部 貨幣の諸原理の交易への適用」,「第4編 信用と債務について」および「第5編 租税と租税収入の適切な使用とについて」の3つの

---

1) 小池基之「二人のフランソワ—François Véron de Forbonnais と François Quesnay—」敦賀女子短期大学『敦賀論叢』(第2号)1987年。pp. 2ff.  
2) 前掲『高垣文庫所蔵貴重書展示会目録』pp. 8f.

部分から構成され、総ページ数は646である<sup>1)</sup>。

第4編は4部に分けられ、そのうち「第2部 諸銀行について」が39章、169ページを占めている。さらにそのうち「第23章 フランスにおける1716年のロー氏の銀行の創設について」<sup>2)</sup>から「第35章 現状ではフランスにおいて銀行はどうすれば安全に設立されうるのか」まで都合13章、56ページ (pp. 235-290) がローの銀行の分析に当てられており、これはローのシステムの研究上きわめて重要な文献である。

『経済の原理』のこの13章について、小林昇博士は「ジェイムズ・ステュアートの見たジョン・ローのシステム」という論文で次のように述べている。「フランスの銀行の分析については、それがローのシステムの執拗かつ独自の追求を主題とする点にとくに留目すべきであって、そこにはさしあたってつぎの特徴が示されている。すなわち第一。ローのシステムにかんする初期の文献としては、フランス側にサヴァリ、ムロン、デュト、フォルボネら、イギリスの側に右のサヴァリに依るポッスルウェイト、ムロンやデュトの翻訳などがあり、そのほかにも文献は貧しくはないが、『原理』の行った深刻かつ独創的な史的・理論的分析もまた、たんなる史実の点では明示的にはデュトに依るところが多いながらも、全体としては優にこれらの文献に伍すべきこと。……

第二。『原理』はローのシステムの分析を通じて、システム以後のフランスの信用思想——〈デュト、ムロン、サヴァリらフランスの政治的著作家たち〉の信用にかんする〈フランス的諸原理〉——を、彼らのあいだに存

- 
- 1) 小林 昇監訳、J.ステュアート『経済の原理』第3・第4・第5編 名古屋大学出版会 1993年。[文献リスト No. 84] この邦訳には第3・第4・及び第5編の全体が収められているが、1767年の初版本では Book III. Of money and coin のうち Part I. The principles of money deduced, and applied to the coin of Great Britain. は第1巻に、Part II. The principles of money applied to trade. は第2巻に、分割して収められている。
  - 2) 初版第2巻の目次では Chap. XXIII. Of the first establishment of Mr. Law's bank of circulation, in the year 1716, であるが、本文の標題ではアンダーラインの部分が in France となっている。

した鑄貨の価値論→改鑄政策論上の対立にもかかわらず一括して批判しようとして企てたものであって、この限り、『原理』のここでの分析は事実よりもむしろ理論を求めるものであった。<sup>1)</sup>

小林博士は、こう言った重要性にもかかわらず、『原理』のこの部分の分析は、そのごの信用理論の研究史の上でも、……ローのシステムの文献のなかでも、省みられたという事実を知らないのである」と述べ、さらに「ステュアートの信用理論の分析と理解とにあたって当面の13章は不可欠な——すくなくとも十分に顧慮さるべき——部分なのであり、それにもかかわらずステュアート文献のなかでかつて一度も省みられなかった（この点はたしかである）部分なのであった」ことを指摘している<sup>2)</sup>。

『経済の原理』は1770年にダブリンで、1796年にバーゼルとストラスブルで版を重ね、1769年にハンプブルグで、また1769/72年にチュービンゲンでドイツ語版が、1789年にはパリでセノヴェールによる5巻本のフランス語版が出版された<sup>3)</sup>。翌1790年に同じ訳者によって『ジョン・ロー著作集』が刊行されたことはすでに述べた。

『アダム・スミス文庫目録』には『経済の原理』の初版の第1巻だけが、『ローダーデール伯文庫目録』には2巻揃って収められている<sup>4)</sup>。

## C 文献リスト

### I ジョン・ローの著作

- \* 1. [Law, John.] Money and trade considered, with a proposal for supplying the nation with money. Edinburgh, Printed by the Heirs and Successors of Andrews Anderson, Printer to the

- 
- 1) 小林 昇「ジェイムズ・ステュアートの見たジョン・ローのシステム」大東文化大学『経済論集』No. 43, 1987年, pp. 32f.
  - 2) 小林 昇, 前掲論文。pp. 32 & 33.
  - 3) Walter Braeuer. a. a. O., S. 76f.
  - 4) James Bonar. op. cit., p. 180.  
前掲『ローダーデール伯文庫目録』。p. 31, No. 241.



Queens most Excellent Majesty, Anne DOM. 1705.

2. Law, John. *Considération sur le commerce et sur l'argent. ... Traduit de l'Anglois. La Haye, 1720.*
3. Law, John. *Money and trade consider'd ; with a proposal for supplying the nation with money. London, 1720. (106p.)*
4. Law, John. *Money and trade consider'd ; with a proposal for supplying the nation with money. Second ed. London, 1720. (96p.)*
- ▲ 5. Law, John. *Money and trade considered : with a proposal for supplying the nation with money. First published at Edinburgh MDCCV. By the celebrated JOHN LAW, Esq ; afterward Director to the Missisipi Company. Glasgow, Printed and sold by R. & A. Foulis. MDCCL.*
6. Law, John. *Money and trade considered : with a proposal for supplying the nation with money. First published at Edinburgh MDCCV. By the celebrated JOHN LAW, Esq ; afterward Comptroller-general of the Finances of France. Glasgow, Printed and sold by R. and A. Foulis. M, DCC, LX.*
- ✳ 7. Law, John. *Oeuvres de J. Law, Contrôleur-général des Finances de France, sous le Régent ; contenant les principes sur le numéraire, le commerce, le crédit et les banques. Avec des notes. par Étienne François de Sénover, Paris, Buisson, 1790.*
8. Law, John. *Oeuvres complètes. 3 vols. par Paul Harsin. Paris, 1934.*
- \* 9. Law, John. *Gedancken vom Waaren- und Geldhandel. Liechten-*

stein 1987. Contents.—Gedanken vom Waaren- und Geldhandel, nebst Dem erst in Schottland, hernach in Franckreich vorgestellten und angenommenen neuen Project und Systemate der Financen, Wobey einige curieuse Fata des Autoris zu lesen. Leipzig 1720.—Reflexions über Mr. Laws neues Systema der Financen, Wodurch der aus denen aufgerichteten Compagnien entstehende Schaden gezeigt, (Alles auf die Erfahrung und Grundschlüsse, so von Natur aus dieser Materie fliessen, gegründet.) ... Leipzig 1720.

- \*10. [Law, John.] Anonyme Schriften betreffend seine Finanzspeculationen. Liechtenstein 1987. Contents.—Ausführliche historische und geographische Beschreibung des an dem grossen Flusse Mississipi in Nordamerica gelegenen herrlichen Landes Louisiana. Leipzig 1720.—Gegenwaertiger Zustand derer Financtzen von Franckreich. Leipzig 1720.

## II ジョン・ロー関連の文献

11. Ainsworth, W. Harrison. John Law, the Projector. London, 1866.
12. Alexi, S. John Law und sein System. Berlin 1885.
13. Angelesco. Après l'expérience de Law la lettre de Turgot sur papier-monnaie (Lettre à l'Abbé de Cicé), Paris, 1928.
- ※14. Anonym. [Banque de Law :] Recueil de 57 pièces publiées entre le 3 décembre 1719 et le 5 juin 1720.
15. Batt, C. Strawde. Zur Geschichte der englischen Südseehandels-gesellschaft, 1711-1719. Jena 1904.
16. Blanqui, Jérôme Adolphe. Histoire de l'économie politique en Europe. Paris, 1837.

17. Cantillon, Richard. *Essai sur la nature du commerce en général*.  
Reprinted for Harvard University, Boston, 1892.
18. (Cantillon, Richard.) *Essai sur la nature du commerce en général*.  
by Richard Cantillon, Edited with an English Translation and  
other material. by Henry Higgs, C. B. For the Royal  
Economic Society. London, 1931.
19. [Chamberlen, H.] *A present remedie for the want of Money ; or  
Some remarks, upon a paper, entituled An overture for  
supplying the present scarcity of money ; with a defence of  
a former, which seems very much preferable to it, and is  
now by order of Parliament under the consideration of the  
Right Honourable the Committee for examination of  
accompts. [Edinburgh? 1705?]*
20. Cochut, P. André. *Law, son système et son époque*. Paris, 1853.
21. ———. *The Financier, Law ; His scheme and times*. London,  
1856.
22. Colbert, Carl. *Der Börsenschwindel des John Law ; ein Beitrag  
zur Revolutions- und Sittengeschichte*. München 1927.
- \*23. Cowles, Virginia Spencer. *The Great Swindle, The Story of the  
South Sea Bubble*. New York, C 1960.
24. Daridan, Jean. *John Law, père de l'inflation*. Paris, 1938.
- \*25. [Dechamps, F. M. C. et Pâris-Duvernay, Joseph.] *Examen du livre  
intitulé Réflexions politiques sur les finances et le com-  
merce*. 2 vols. La Haye, 1740.
26. [Dutot, Charles de Ferrare.] *Réflexions politiques sur les finances,  
et le commerce. Où l'on examine quelles ont été sur les  
revenus, les denrées, le change étranger, & conséquemment*

sur notre commerce, les influence des augmentations des valeurs numéraires des monnoies. 2 vols. La Haye, 1754.

- \*27. [Dutot, Charles de Ferrare.] Political Reflections upon the Finances and Commerce of France; shewing the causes which formerly obstructed the advancement of her trade, on how much better footing it stands now than it did under Lewis XIV, with several expedients for raising it still to a greater Heighth. London; printed for A. Millar. 1739.
- \*28. Eon de Beaumont, C. G. L. A. A. T. d'. Mémoires pour servir à l'histoire générale des finances, par M. Déon de Beaumont. 2 vols. in 1. Londres, Louis Pierre Mortier, 1758.
29. Erleigh, Gerald Rutus Isaacs. The South Sea Bubble. Manchester, 1933.
30. Anonym. An Essay for promoting of trade, and increasing the coin of the nation. In a letter from a gentleman in the country to his friend at Edinburgh, a member of Parliament. [n. p., 1705?]
31. Fairley, John A. Lauriston castle; the estate and its owners. Edinburgh, 1925. (2 items)
- \*32. [Forbonnais, François Véron Duverger de.] Recherches et considérations sur les finances de France, depuis 1595 jusqu'en 1721. 2 vols. Basel, 1758.
- \*33. [Forbonnais, François Véron Duverger de.] Recherches et considérations sur les finances de France, depuis 1595 jusqu'en 1721. 6 vols. Liège, 1758.
34. Harrison, Michael. Gambler's Glory. London, 1940.
- ▲35. Anonym. Het groote tafereel der dwaasheid vertoonende de

opkomst, voortgang en ondergang der actie, bubbel en windnegotie, in Vrankryk, Engeland, en de Nederlanden, gepleegt in den jaare MDCCXX.

- \*36. (Het groote tafereel der dwaasheid.) Cole, Arthur H.; The great mirror of folly (HET GROOTE TAFEREEL DER DWAASHEID), An Economic-Bibliographical Study. Boston, 1949.
- 37. Horn, J. E. Jean Law; ein finanzgeschichtlicher Versuch. Leipzig 1858.
- 38. Hyde, Harford Montgomery. John Law, the history of an honest adventurer. Amsterdam, 1948.
- 39. ———. John Law, the history of an honest adventurer. Amsterdam, 1969.
- 40. Kerschagl, Richard. John Law; Die Erfindung der modernen Banknote. Wien, Vebände Österreichs, 1956.
- \*41. Lande, Lawrence M. The Rise and Fall of John Law 1716-1720. Montreal, 1982.
- \*42. ———. The Political Economy of New France as developed by John Law—Compagnie des Indes & the French-Canadian Traders. Montreal, 1983.
- \*43. ———. The founder of our Monetary System, John Law, Compagnie des Indes & the Early Economy of North America. Montreal, 1984.
- \*44. ———. John Law; the French régime and the beginnings of exploration trade and paper money in North America. A third bibliography. Montreal, 1985.
- \*45. ———. John Law; the influence of his system on the American and French revolutions and its lasting effect on

- world economics. A fourth bibliography. Montreal, 1986.
- \*46. ———. John Law; the creditability of land and the development of paper money and trade in North America. A fifth bibliography. Montreal, 1987.
- \*47. (———..) A short title catalogue of the Lawrence M. Lande collection. Reflecting the influence of John Law and paper money on the early economic development of North America and including, in particular, material relating to John Law and his system and the Compagnie des Indes. Being an index to the following published bibliographies of the Lande collection. The political economy of New France, 1983. The founder of our monetary system, 1984. The beginning of exploration, trade and paper money in North America, 1985. John Law- the lasting effect of his system on world economics, 1986. Comp. and ed. by Roger McCrow. Hythe, Kent, 1987.
- \*48. ———. John Law. Early Trade Rivalries Among Nations and the Beginnings of Banking In North America. A Sixth Bibliography. Montreal, 1988.
- \*49. ———. John Law. The Evolution of his System. A Seventh Bibliography. Montreal, 1989.
- \*50. ———. The French Royal Navy. Events during the naval wars since 1740. Mpointreal, 1990.
51. Laughlin, James Laurence. A new exposition of money, credit and prices. 2 vols. Chicago, c1931.
- \*52. Lemontey, [Pierre Edouard.] Histoire de la Régence et de la Minorité de Louis XV, jusqu'au ministère du cardinal de

Fleury. 2 vols. Paris, 1832.

- \*53. Levasseur, E. Recherches historiques sur le système de Law. Paris, 1854.
- \*54. Luchet, Jean-Pierre-Louis de la Roche, Marquis de. Histoire de Messieurs Paris. Ouvrage dans lequel on montre comment un Royaume peut passer dans l'espace de cinq années, de l'état le plus déplorable à l'état le plus florissant. s. l. s. n., 1776.
- \*55. [Marmont du Hautchamp, Barthélemi.] Histoire du système des finances, sous la minorité de Louis XV, pendant les années 1719 & 1720. Précédée d'un Abrégé de la vie du duc Régent, & du sr. Law. 6 vols. La Haye, Pirre de Hondt, 1739.
- 56. Mayer, Anton. Finanzkatastrophen und Spekulenten. Leipzig 1938.
- 57. [Melon, Jean François.] Essai politique sur le commerce, par monsieur M.\*\*\*. Amsterdam, 1735.
- \*58. [———.] Essai politique sur le commerce. Nouv. ed. augm. de sept chapitres, & où les lacunes des éditions précédentes sont remplies. [n. p.] 1736.
- \*59. Oudard, Georges. La très curieuse vie de Law, aventurier honnête homme. Paris, 1927.
- 60. ———. John Law, A Fantastic Financier, 1671-1729. London, 1928.
- \*61. ———. The amazing life of John Law; the man behind the Mississippi bubble. New York, 1928.
- 62. Anonym. An Overture for Supplying the present scarcity of Money. [n. p., 1705] 一枚の紙の表裏 2 ページだけ
- \*63. [Patterson, William.] An enquiry into the state of the union of

Great Britain, and the past and present state of the trade and publick revenues thereof. By the Wednesday's club in Friday street. 3rd ed. London, Printed for A. and W. Bell and J. Watts, 1717.

64. [Paterson, William.] Proposals and reasons for constituting a council of trade in Scotland. by the celebrated John Law, Esq; afterwards Comptroller of the Finances in France. First published at Edinburgh in the 1700. Glasgow, printed and sold by Rob, & and [sic], Foulis. MDCCLI.
65. (Paterson, William) Bannister, Saxe. William Paterson; The merchant statesman, and founder of the Bank of England, his life and trials. Edinburgh, 1858.
- \*66. (Paterson, William) Bannister, Saxe (ed.). The writings of William Paterson, of Dumfrieshire, and a citizen of London; founder of the Bank of England, and of the Darien colony. London, 1859. 3 vols.
- \*67. Pereire, Emile et Issac. Enquête sur la Banque de France ... Du système des Banques et du Système de Law. Paris, 1866.
- \*68. [Piossens, Chevalier de.] Mémoires de la Régence de S. A. R. Mgr. le Duc d'Orléans, durant la Minorité de Louis VX, Roi de France. 3 vols. La Haye, 1736.
- \*69. Pollatschek, Stefan. John Law; Roman der Banknote. Wien, Büchergilde Gutenberg, 1937.
70. Potut, George. La Banque de France. Paris, 1961.
71. Rist, Charles. Histoire des Doctrines relatives au Crédit et à la Monnaie, depuis John Law jusqu'à nos jours. Paris, 1938.
72. Rist, Charles. History of Monetary and Credit Theory, from John



- Law to the present day. London, 1940. transl. by Jane Degras.
73. Steuart, Sir James, Bart. An inquiry into the principles of political oecconomy: being an essay on the science of domestic policy in free nations. In which are particularly considered population, agriculture, trade, industry, money, coin, interest, circulation, banks, exchange, public credit, and taxes. 2 Vols. London, 1767.
  74. Thiers, Louis Adolphe. Histoire de Law. Paris, 1858.
  75. Thiers, Adolphe. The Mississippi bubble; a memoir of John Law. New York, 1859.
  - \*76. Trintzins, René. John Law et la Naissance du Dirigisme. Paris, 1950.
  77. Wilding, Peter. Adventurers in the eighteenth century. London, (1937).
  78. Wiston-Glynn, A. W. John Law of Lauriston. Edinburgh, [1907].
  79. [Wood, John Philip.] A sketch of the life and projects of John Law of Lauriston, comptroller general of the finances in France. Edinburgh, 1791.
  - \*80. [—————.] The ancient and modern state of the parish of Cramond. To which are added, biographical and genealogical collections, respecting some of the most considerable families and individuals connected with that district; comprehending a sketch of the life and projects of John Law of Lauriston. Edinburgh, 1794.
  81. ————. Memoirs of the life of John Law of Laurisoton. Edinburgh, 1824.

82. 赤羽 裕, アンシャン・レジーム論序説 18世紀フランスの経済と社会, 東京, みすず書房, 1978年。
83. シャルル・リスト, 天沼紳一郎訳 貨幣信用学説史, 東京, 実業之日本社, 1943年。
- \*84. J.ステュアート, 小林 昇監訳 経済の原理, 第3・第4・第5編, 名古屋, 名古屋大学出版会, 1993年。
85. 新庄 博, ジョン・ローの研究 (稿本)。
- \*86. R.カンティロン, 津田内匠訳 商業試論, 名古屋, 名古屋大学出版会, 1992年。
87. R.カンティヨン, 戸田正雄訳 経済概論, 東京, 春秋社, 1949年。
88. A.ブランキ, 吉田啓一訳 欧州経済思想史, 東京, 有信堂, 1965年。
89. ジョン・ロー, 吉田啓一訳 貨幣と商業, 東京, 世界書院, 1966年。
90. 吉田啓一, ジョン・ローの研究, 附「貨幣と商業」全訳, 東京, 泉文堂, 1968年。

無印は高垣寅次郎博士からの寄贈書。\*は新たに購入したもの。▲は別途寄贈を受けたもの。※は成城大学図書館所蔵のもの。

[1995.4.18]